

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名 <small>にほんかいえんがんとうほく</small> 日本海沿岸東北自動車道 <small>さかた</small> 酒田みなと～遊佐 <small>ゆさ</small>	事業 区分	国土交通省 高速自動車国道 主体 東北地方整備局			
起終点 自： <small>やまがた さかた ふじつか</small> 山形県酒田市藤塚 至： <small>やまがた あくみ ゆさ きため</small> 山形県飽海郡遊佐町北目		延長 12.0km			
事業概要 日本海沿岸東北自動車道は、新潟県新潟市を起点として山形県酒田市や秋田県秋田市を経て青森県青森市に至る延長約320kmの高速自動車国道である。酒田みなと～遊佐間は、日本海沿岸東北自動車道の一部を形成し、広域的な連携・交流の促進、災害時のリダンダンシーの確保、重要港湾酒田港へのアクセス強化に寄与することを目的としている。					
H21年度事業化	H21年度都市計画決定 (H一年度変更)	H23年度用地着手	H24年度工事着手		
全体事業費	310 億円	事業進捗率	7%	供用済延長	—km
計画交通量	13,000 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 265億円/306億円 (事業費：224億円/265億円) (維持管理費：41億円/41億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 585億円/585億円 (走行時間短縮便益：446億円/446億円) (走行費用減少便益：111億円/111億円) (交通事故減少便益：28億円/28億円)	基準年 平成25年	
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.7～2.1 (交通量±10%) 【残事業】 B/C=2.0～2.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.8～2.1 (事業費±10%) B/C=2.0～2.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8～2.1 (事業期間±1年) B/C=2.1～2.5 (事業期間±1年)					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・にかほ市から庄内空港（現況49分）へのアクセス向上が見込まれる ②物流効率化の支援 ・にかほ市から酒田港（現況36分）へのアクセス向上が見込まれる ③国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間（酒田市と秋田市 現況120分）を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する ④安全で安心できるくらしの確保 ・遊佐町（吹浦）から日本海総合病院（現況26分）へのアクセス向上が見込まれる ⑤災害への備え ・並行する国道7号通行止め時には、国道13号による広域迂回が強いられる区間の代替路線を形成する					
関係する地方公共団体等の意見 ○山形県知事の意見 日本海沿岸東北自動車道は、格子状骨格道路ネットワークを形成する重要な路線です。本路線は、東日本大震災からの復興に大きく貢献することが期待され、災害時の広域的代替機能の強化、及び、東北地方の発展を図るためにも重要で、必要不可欠であります。 また、本県において、平成21年度に策定した「山形県道路中期計画」においても、「高速道路・地域高規格道路の整備促進」は、最優先する施策としており、当該事業を継続され、早期完成を目指し、着実な予算の確保をお願いします。					
○以下の団体等から、酒田みなと～遊佐の整備促進について要望あり ・日本海沿岸東北自動車道建設促進同盟会（会長：山形県知事） ・日本海沿岸東北自動車道建設促進庄内地区期成同盟会（会長：鶴岡市長）					

